

## 1 取組名称

物質科学における大学院教育の国際化の展開

## 2 取組組織

理工学研究科、物理学専攻・分子物質化学専攻

## 3 取組実施代表者名

理工学研究科・物理学専攻・教授・岡部豊

## 4 取組期間

1年間（平成22年度）

## 5 取組の概要

これまでの文科省による大学院 GP 支援プログラムにより活性化して来た大学院生の国際会議派遣による国際化や TA を通じた教育経験・生活支援、また、中高生向けの企画における大学院生の自立的企画力涵養等の支援を継続、展開させていく事を目指す。一方で、科学英語講義、英語によるプレゼンテーション教育等は、通常の大学院講義に組み込むなどの展開をしていく。

具体的には、大学院生が自らの研究内容を海外に出かけて英語で発表・研究する国際会議・研修の派遣、また、日・韓・英・スウェーデンの大学院生によるポスター発表会・優秀ポスター発表の表彰を通じ自らの研究の専門外の人との議論や説明体験を深める、そして、将来の海外における活躍をも視野に入れた海外インターンシップ等を継続・発展させていく。これらの体験は、将来、企業に職を求める際にも活かされると期待できる。

GP アシスタントや大学院生による中高生向け企画の、内容の立案・実施等を継続する。

## 6 事後評価での総合評定

目的は十分達成された

## 7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・大学院生が国際的な環境に溶け込む機会提供を増やす取組として評価できる。
- ・海外インターンシップ入門を「見学的な行事」から数週間から数か月間の「短中期インターンシップ」に展開できるようにしてほしい。